

桜溪

芳井中
学校だより
4月号

令和三年度

始まる

四月七日、いよいよ令和三年度が始まりました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症への対応から、校内放送を使って始業式を行いました。今年度は感染防止対策をしつつ、体育館に全員集まって式を行うことができました。まずは無事に新年度の船出ができたことに、ほっと一安心いたしました。

さて、本校では本年度の取り組みの重点の一つとして、「目標をもち、その実現に向けて主体的に取り組む生徒の育成」を掲げています。そこで、式の中では、

■まずは小さな目標をたて、それをひとつひとつクリアしていく

■今の自分より、明日は少しでも成長しているそんな生き方を目指しましょう、という話をしました。

一人一人が、自分の進路や夢の実現に向けて、充実した一年を過ごすことができることを願っています。

*本年度も、新型コロナウイルスの影響により、教育活動に様々な支障が生じるおそれがあります。何卒、ご理解・ご協力をお願いします。

入学式（四月九日）



晴れ渡る青空の下、今年度の入学式が無事に執り行われました。新入生二十四名を代表して、〇〇〇〇さんが『誓いのことば』を読み上げてくれましたが、その中に「伝統ある芳井中学校」という言葉がありました。

「伝統」とは、長い年月を通じて後代に伝えられ、受け継がれていくもののことを言いますが、私が受け継いでいつて欲しいと願うのは、校歌の歌詞にある

「友よ挙りて 睦み励まん」の精神です。

さあ友よ、互いに励まし合いながら、夢の実現に向けて頑張ろう。この歌詞に込められた思いを、大切に受け継いでいつて欲しいと思います。



* 初登校の新入生と、それを迎える上級生



* 新入生代表『誓いのことば』



* 真剣な眼差しで、話を聞いています

入学式後、ホームルームにて初めての学活が行われました。担任の先生から中学校生活に関する説明を聞く態度が、大変素晴らしかったです。気持ちちは、もうすっかり中学生に切り替わっているようでした。

自分の夢を実現させるためには、目標をもつことが大切です。

「目標なしで成功した人はいない。

空気がないで生きた人がいないように。

だから、あなたが行くこうと思うところに、はっきりした的を絞ることだ。」

ダビッド・シュワルツ

（米国／経営学者）

夢を実現させるための近道はありません。一つ一つ、一歩一歩、地道に取り組んでいきましょう。

「次の目標は、次のヒットです。」

「小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行く。ただひとつの道だと思っています。」

イチロー（日本／プロ野球選手）